

編集後記

- ◆今号は、連載「数字で掴む自治体の姿」を休み、宮崎理事長には夕張市の財政再生計画の問題について執筆していただきました。夕張市の鈴木直道市長は、宮崎理事長の法政大学の教え子で、宮崎理事長は以前からしばしば夕張市を訪れて調査活動を行ってきました。2015年度には、法政大学の国内留学により、1年近く夕張市役所に通って、調査研究作業を進めています。宮崎理事長が今号の連載記事の執筆にとりかかっていた8月下旬に、「北海道庁が不適切な会計操作を繰り返している」というマスコミ報道がなされ、急きょ今回の記事の執筆をすることとなりました。マスコミの報道姿勢、道庁・総務省の関与のあり方の変更を含め、夕張市の財政再生計画の見直しを地域の尊厳にかかわる問題として提言しています。
- ◆「公共の担い手」は「NPO法人 光と風」にお願いしました。旭市の「いいおか潮騒ホテル」で集まりがあり、全通（現J P労組）千葉地方本部の元書記長にお会いする機会がありました。「いいおか潮騒ホテル」の前身は「国民宿舎いいおか荘」です。この「いいおか荘」は東日本大震災の際、1階部分が津波に襲われたため休業したものを1年前に再開したものです。旭市では、津波による死者・行方不明者が16名います。元書記長から旭市の東日本大震災時の被災状況を伺っていましたら、旭市での震災復旧・復興のNPO活動に関わっているとのことでした。そこで、NPO法人との橋渡しをお願いし、旭市の復興観光まちづくり活動について掲載していただくこととなりました。
- ◆次号では、9月17日に開催された千葉県地方自治研究集会の講演録を掲載します。今回の集会は、東日本大震災5周年を受けて、「21世紀千葉地震に備えるーせまり来る首都直下地震の危機ー」をテーマに基調講演とパネルディスカッションを行いました。首都直下地震を止めることはできません。地震にどう備えるか、どう凌ぐかを考える上で、きっと皆さんの参考になると思います。

事務局長 佐藤 晴邦

自治研ちば 既刊案内



2016年6月
(vol.20)

- ・巻頭言 元環境大臣・参議院議員 長浜 博行
- ・自治研センター講演会【講演概要】
『世界と日本のいま ～私たちの生活どうなる～』
法政大学法学部教授 萩谷 順
- ・20号記念特別記事
『自治研ちば』第20号を迎えて 理事長 法政大学法学部教授 宮崎 伸光
- ・総務相の電波停止発言の問題点と報道の自由について
衆議院総務委員会野党筆頭理事 衆議院議員 奥野総一郎
- ・県議会報告 指定廃棄物の最終処分場をめぐる動向について
千葉市が受け入れ拒否 環境省 市の再協議要請に応じず 今後の展開を注視
理事 千葉県議会議員（千葉市中央区選出）あみなか肇
- ・市議会報告 千葉市の国家戦略特区指定とドローン活用を含めた市議会報告
千葉市議会議員（千葉市美浜区選出）田畑 直子
- ・公共の担い手 ～もう一度自力で歩きたい、もう一度働きたい～
社会福祉法人あかね 理事長 金子 楓
- ・シリーズ千葉の地域紹介
一宮町 豊かな自然と歴史が織り成す、新しいライフスタイル
一宮町役場 まちづくり推進課
研究員 鶴岡 美宏
- ・新聞の切り抜き記事から 編集部
- ・今期の入手資料
- ・編集後記 事務局長 佐藤 晴邦

バックナンバーの申し込みは当研究センターまで 1部800円

自治研ちば VOL.21

2016年10月1日発行
発行 一般社団法人
千葉県地方自治研究センター
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
千葉県教育会館新館6階
自治労千葉県本部内
TEL 043-225-0020
FAX 043-225-0021
編集 佐藤 晴邦
印刷 (株)メロウリンク企画
頒価 800円（送料別途）